

令和5年度島根県立青少年の家運営委員会 議事録（概要）

1. 日時 令和6年3月12日（火）10時～12時
2. 場所 島根県立青少年の家 第4研修室
3. 議事
 - (1) 令和4年度運営委員会の主な意見について
 - (2) 施設の利用状況等について
 - (3) 令和5年度主催事業の実施状況について
 - (4) 令和5年度広報・啓発実績について
 - (5) 指定管理の状況について
 - (6) 施設管理の状況について（指定管理者：北陽ビル管理株式会社）
 - (7) 施設・設備の修繕工事等について
 - (8) 令和6年度の主催事業について
 - (9) その他

4. 主な意見・要望等

意見・要望等	回 答
レジオネラ菌の発生について、予約状況への影響は	<p>1泊2日の予約を日帰りに変更した学校があった。また、個人利用者でキャンセルをした団体があった。</p> <p>このほか、学校の研修シーズンと重なったため、浴槽を使えるかどうかという問い合わせを複数いただいた。</p>
改修工事を予定しているとのことだが、電気代が高騰しているため、ソーラー発電を設置してはどうか。最近では設置費用のかからないものもある。県の機関であるため災害時に役立つと思う。初期費用が不要なものもある。	<p>工事の執行部署に伝える。</p> <p>なお、改修工事では照明のLED化をする予定としており、電力の削減が見込める。</p>
<p>宿泊施設での害虫問題が騒がれているが、害虫駆除はどのようにしているか。</p> <p>宿泊室の寝具のクリーニングを徹底して欲しい。</p>	<p>ゴキブリ、ネズミに対して実施している。利用者の清掃に加え、指定管理者として日常清掃をしているため、トコジラミは発生しにくい環境であると思っているが、何かあれば薬剤散布などできる体制をとっている。</p> <p>布団についてチェックし、必要であれば対策を講じる。</p>

意見・要望等	回 答
<p>大学の学生との連携事業を実施しているが、今後も継続する方向なのか。また、どのような効果が出ているのか。</p>	<p>今後も継続の方向と思っている。 青少年の家の事業に主体的に関わってもらったことにより、大学に帰ってからリーダー養成という部分で活着していると聞いている。</p>
<p>令和5年度の利用者数について、コロナ前の利用者数と比較すると戻っていないが、今後は回復すると見込んでいるのか。</p>	<p>利用者数は、全ての年齢層で減少している状況。徐々に回復しているため、更に増加するのではないかと期待している。回復しない傾向は、他の施設でも同様と聞いている。 高校生以下の子どもの数が減少しており、1団体当たりの人数が減っている。企業研修や高齢者の方にも施設の利用をPRしていく必要がある。</p>
<p>野外活動など危険が伴う事業があると思うが、危険予知トレーニングにも取り組んでいただきたい。</p>	<p>青少年の家でも、「地域の体験活動支援事業」で危険予知トレーニングを実施しており、コミュニティセンター等に職員が出掛けて実施している。ぜひ、ご相談いただきたい。</p>
<p>パラスポーツは、具体的にはどういうことをしているのか。 用具の貸し出しは可能か。 積極的に用具を活用し、研修等を企画して欲しい。</p>	<p>車いすバスケット、ボッチャ、ゴールボール、卓球等を体験できる。今年度の実績は、車いすバスケット、ボッチャの提供回数が多い。 用具の貸し出しはできないため、青少年の家で体験していただきたい。</p>
<p>高齢者には第1駐車場から本館までの階段がきついという話を聞くが、上の駐車場を利用できないか。</p>	<p>1団体しか利用がない時ならいいかもしれないが、子ども達が活動しているところを車で通過するのは危険なため、第1駐車場を利用していただいている。閑散期ならご相談いただければ対応できる場合があるかもしれない。 なお、閑散期はバスの送迎を行っているため、そちらもご利用いただける。</p>
<p>改修工事についての新聞報道後、利用者からの問い合わせ等があったのか。</p>	<p>関係者から数件問い合わせがあった。今後、学校等へ直接お知らせするので、そのタイミングで問い合わせがあると考えている。 影響が大きいので、利用者と相談していく。</p>

意見・要望等	回 答
<p>ホームページに、青少年の家を利用した企業等利用者の声（研修による効果やメリット等）を掲載すると、利用率アップに繋がると思う。</p>	<p>現在は主催事業での様子しか掲載していないため、ぜひ取り組んでいきたい。</p>
<p>他県の青少年の家では、不登校の子どもへの取り組みで、大学生のサポーターに事業に関わってもらい人気となっている。青少年の家でも取り組んでいただきたい。</p> <p>また、不登校で悩んでいる家族のサロン等に呼び掛け等も実施して欲しい。</p>	<p>青少年の家でも、ほとんどの主催事業に島根大学、島根県立大学の学生サポーターに運営側として関わっていただいている。</p> <p>今後も連携を強化したい。</p>